

受験者の平均スコアは46点！ 8割以上が日本人の平均点38点超え！



2018年10月5日
株式会社 日本経済新聞社

日本経済新聞社は5日、全国一斉英語テスト「第1回 VERSANT英語スピーキング・チャレンジ」の9月末までの中間報告（速報値）をまとめました。今年春から国内の有力企業30社以上が参加するVERSANTのモニター試験を実施していますが、これまで蓄積したスコアデータと比較してもスピーキング・チャレンジでは英語の勉強に熱心な受験者の方に数多く挑戦して頂いております。受験者の平均スコアは46点で、これまでの日本人平均の38点を大幅に上回る結果となっています。

中間結果のポイント

- ・受験者の**VERSANTスコア平均は45.6点**
⇒日本人平均（38点）を7点も上回る
- ・海外赴任の目安とされる**47点以上は全体の4割程度**
⇒大手企業向けモニター試験（2割弱）の2倍
- ・受験者の**TOEIC申告スコア**の平均は**796.5点**
⇒900点以上が全体の2割強

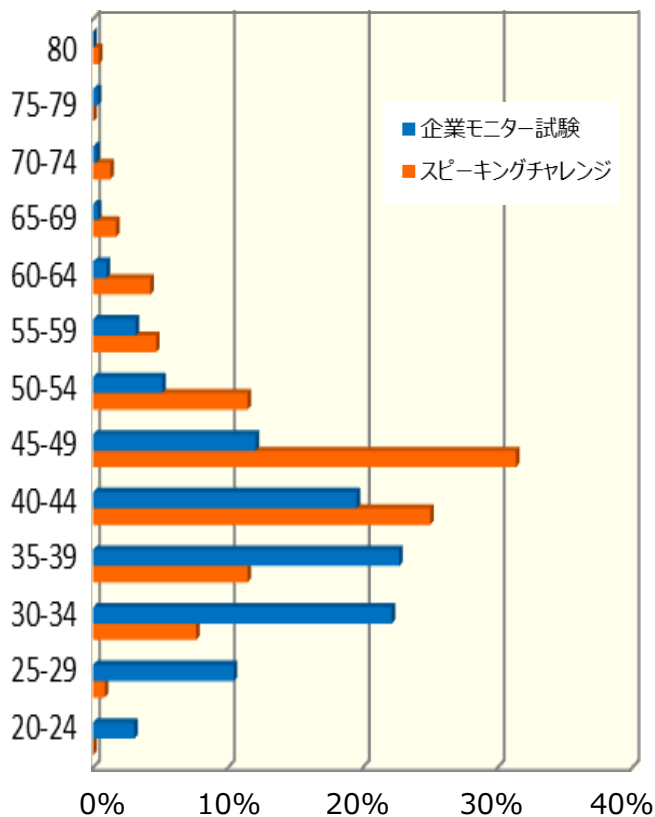


「ビジネスで必要な英語力」を証明する VERSANT スピーキングテスト

VERSANT®は、仕事で使える実践的な英語力を測るテストです。世界最大規模の教育サービス会社ピアソンで開発された高度な自動言語認識システムを利用しており、日本人が苦手とする英語スピーキング力を短い時間で客観的に採点できます。

数多くのグローバル企業や政府機関が、英語をネイティブとしない人材の育成や採用にVERSANTを活用しています。日本では日本経済新聞社が総販売代理店であり、今年春からはテストの有効性を理解してもらうために日本の有力企業30社以上にモニター試験に参加して頂いております。

受験者のVERSANTスコア分布
企業モニター試験との比較



- ・45～49点がボリュームゾーン
- ・海外赴任の目安である47点以上が4割強
- ・企業モニター試験をはるかに凌ぐ高いスコア

総合スコアの高得点者30人
項目別スコア (文章構文・語彙・流暢さ・発音)

業種	Versant 総合	文章構文	語彙	流暢さ	発音
その他 (英語教育関係など)	80	80	76	75	79
その他 (英語教育関係など)	74	76	80	74	64
サービス	71	68	73	75	66
金融	70	80	62	62	62
サービス	68	58	66	72	76
金融	67	80	59	57	57
IT (情報・通信・エレクトロニクス)	67	77	65	59	67
サービス	67	57	69	70	75
サービス	64	56	62	72	65
サービス	64	79	63	58	50
その他	63	68	74	54	57
サービス	61	60	64	67	49
金融	61	58	64	63	60
金融	61	59	59	66	56
金融	60	57	71	60	52
卸売・小売業・商業	60	61	64	62	51
学生	60	59	58	60	62
その他	60	66	66	53	55
金融	60	57	56	67	59
学生	60	80	68	44	43
学生	59	51	55	70	58
金融	59	56	57	64	58
金融	59	57	63	61	56
卸売・小売業・商業	59	58	58	57	64
サービス	59	63	71	57	47
サービス	58	55	65	65	47
サービス	56	55	48	61	57
サービス	56	45	45	64	69
サービス	56	69	74	40	41
金融	56	65	67	46	44

- ・トップのスコアは80点 (満点)
- ・サービス業や金融業従事者が多くランクイン
- ・「語彙」が高く、「発音」が低い傾向

「第1回 VERSANT 英語スピーキング・チャレンジ」 締め切り迫る！

10月20日申込締切。まだチャレンジしていない方はお急ぎください。

VERSANT受験で、「世界に通用する英語力」を証明しよう！

<https://www.versant.jp/campaign/201807/>

キャンペーン終了後にも結果を集計し、詳しいレポートを掲載いたします。
詳細は下記までお問い合わせください。

株式会社 日本経済新聞社 法人ソリューション本部
電話：03-6256-2625
MAIL：nikkeisolution@nex.nikkei.co.jp